



平成20年5月19日

各 位

会 社 名 日本開閉器工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 大橋 智成
(JASDAQ・コード6943)
問合せ先
役職・氏名 取締役・市川 忠夫
電話044-813-8026

平成20年3月期通期(連結・単独)業績予想の修正及び営業外費用(為替差損)の発生に関するお知らせ

平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想について、平成19年11月28日付当社「平成20年3月期中間(連結・単独)業績予想との差異及び通期(連結・単体)業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。また、営業外費用として多額の為替差損が発生しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想(A)	9,200	890	1,000	550
今回修正(B)	8,802	482	416	141
増減額(B-A)	△397	△407	△583	△408
増減率	△4.3%	△45.8%	△58.4%	△74.2%

(2) 修正の理由

- 平成19年度の当社の属する産業用スイッチ(操作用スイッチ)市場の出荷総額は、前年同期比98.1%と厳しい状況が続いています。当社グループの売上高につきましても前年同期比99.4%、前回修正予想対比で3億97百万円減(△4.3%)となる見込みです。
- 利益につきましては、中国工場の本格稼働による原価低減や中国生産品の日開香港有限公司(連結子会社)からNKK Switches of America, Inc.(連結子会社)への直接販売比率の増加により為替の影響を抑える等の策を講じてまいりましたが、金・銀や原油価格の高騰による原材料・部品の大幅なコスト上昇が利益全体に大きな影響を与えており、また、急激な円高の影響により日開香港有限公司等で為替差損が発生したことなどにより、営業利益につき

ましては前回修正予想対比4億7百万円減の4億82百万円、経常利益につきましても前回修正予想対比5億83百万円減の4億16百万円となる見込みです。

最終的に当期純利益は前回修正予想対比4億8百万円減の1億41百万円となる見込みです。

(3) ご参考：前期の実績（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期(4/1～9/30)	4,436	496	533	285
通期(4/1～3/31)	8,855	925	1,053	645

2. 平成20年3月期 単独業績予想の修正等

(1) 通期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	7,600	815	900	440
今回修正(B)	7,339	426	507	205
増減額(B-A)	△260	△388	△392	△234
増減率	△3.4%	△47.6%	△43.6%	△53.3%

(2) 修正の理由

- ① 売上高につきましては、産業用スイッチ業界を含め景気全体が力強さに欠けるなか、前回修正予想対比2億60百万円減の73億39百万円となる見込みです。
- ② 営業利益・経常利益・当期純利益につきましては、金・銀や原油価格の高騰による原材料・部品の大幅なコスト上昇、横浜パイオニクス株式会社（連結子会社）について減損の兆候が認められたため、当該株式を評価減し、減損損失として82百万円を計上したことを主因としてそれぞれ減益となる見込みです。

(3) ご参考：前期の実績（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期(4/1～9/30)	3,832	535	579	339
通期(4/1～3/31)	7,551	908	1,040	682

3. 連結業績予想における営業外費用（為替差損）の発生

上記の修正理由にあるとおり、急激な円高の進行により日開香港有限公司等で1億54百万円の為替差損が発生しました。

以上